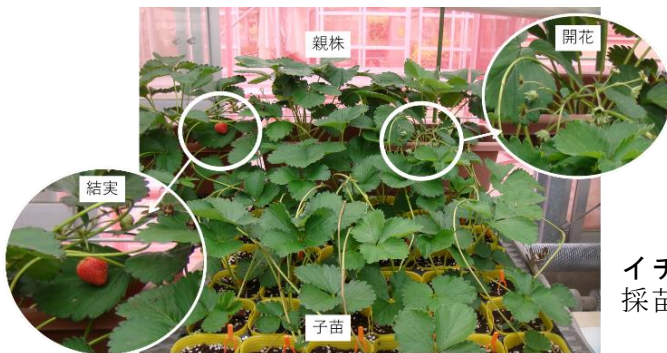


イチゴ親株のクラウンを冷却すると 子苗の花芽分化が早くなる

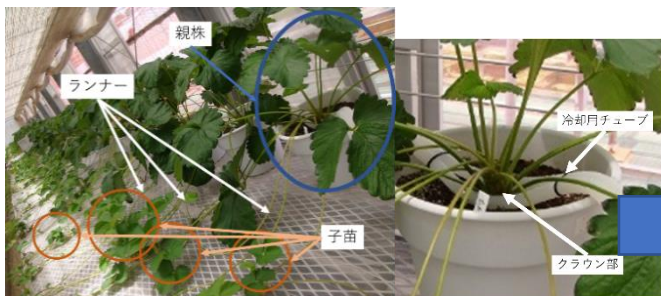
イチゴの採苗のときに花が咲いている親株では、ランナーで繋がっている子苗にも花が咲くことがあります。このことを利用して、イチゴ子苗の花芽分化を早める試験を行いました。温度に対する反応がよいとされる、クラウン部(株元)付近を冷却した親株と繋がっていた子苗の花芽分化は、処理していない株より早い傾向が見られました。

親株のクラウンを冷却することで、子苗の花芽分化が早まる可能性を示すことができましたが、安定した効果が得られていません。今後は、生産現場で利用できる技術確立を目指していきます。



イチゴの採苗・育苗

採苗中の親株が開花・結実することがあります。



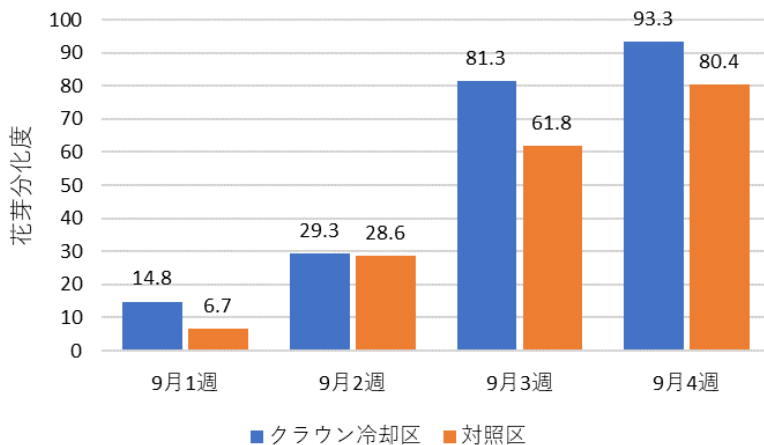
親株クラウン冷却

クラウンを冷却した親株からランナーを伸ばして、採苗の準備をしています。



親株からの採苗

クラウンを冷却した親株から採苗した子苗を使用し、花芽分化程度を調査しました。



子苗の花芽分化程度 (2021年)

クラウンを冷却した親株から採苗した子苗(クラウン冷却区)は、花芽分化が早い傾向が見られました。※花芽分化度が大きいほど、花器の形成が進んでいる(果実となる花が早く咲く)ことを示しています。